

2022年10月12日

## 【新規格付】

## 科学技術振興機構

発行体格付： AA+ [格付の方向性： 安定的]

格付投資情報センター(R&amp;I)は上記の格付を公表しました。

## 【格付理由】

科学技術振興機構(JST)は、国の科学技術政策の実施機関として中核的な役割を担っており、国費を原資に大学、企業、研究機関に研究開発資金を支援することで研究開発を強力に後押しし、科学技術の振興を図っている。JSTが支援した研究の成果は大きく、その一部はノーベル賞の受賞や社会課題を解決する技術革新に結びついてきた。2021年度からは政府の財政支援を後ろ盾に、巨額の大学ファンドの運用も開始している。世界トップレベルへ成長可能な大学に集中的に助成し、国際競争力の強化と技術革新の創出を図る。

持続的成長、国と国民の安全確保、世界的課題への対応と貢献、イノベーション創出の観点から、科学技術の振興は極めて重要な政策目標になっている。政府は科学技術政策を成長戦略の重要な柱に位置付け、「科学技術・イノベーション基本計画」を策定している。2021年に始まった第6期計画では、「世界で最もイノベーションに適した国」にすることを目標に掲げた。JSTの科学技術政策上の重要性は極めて高いことから、日本ソブリンと同格のAA+を付与した。

JSTは国からの目標に基づき、基礎研究、基盤的研究開発、新技術の企業化支援、国際共同研究の推進など、様々な事業を手掛ける。とりわけ、研究開発の推進では著名な実績を残している。研究開発投資に関する知見とコーディネート力に強みを持ち、外部評価機関からの評価も高い。2020年度からは政府の出資金や財政融資資金を活用して大学ファンドを運用する新たな業務を担っている。経験豊富な担当者を担当理事に招き、有識者による運用・監視委員会を設置し、運用・リスク管理体制を強化している。

約2年間の運用後、2024年度から支援対象の大学や学生へ助成を行う予定だ。この間の運用益を自己資本に蓄積し、財務バッファーとするほか安定的な資金給付に利用する。運用にはリスクが伴い、期によっては損失が生じて資本を減らす可能性がある。このため財務省、文部科学省は共同で安定的な運用体制の確立、損失発生時の対策など制度設計を慎重に進めた。ネットの実現損失が決算時の資本金を上回る場合などは財務大臣や文部科学大臣に報告し、対応を協議するなど監督・支援方針が明確になっている。助成業務の円滑な給付開始には、運用立ち上げ期におけるバッファー積み上げが極めて重要であり、運用状況を注視していく。

## 【格付対象】

発行者：科学技術振興機構

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA+ (新規)	安定的

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp  
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

## 信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	喜多 総治郎
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	丸山 博哉

信用格付を付与した日	2022年10月12日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2019. 11. 12]

上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。

[https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating\\_method.html](https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html)

評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。

[https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating\\_grant.html](https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html)

格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。

<https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html>

格付関係者	科学技術振興機構
-------	----------

注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者

## 信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部  
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当)

TEL. 03-6273-7471  
TEL. 03-6273-7273

E-mail infodept@r-i.co.jp

株式会社 **格付投資情報センター** 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。